



●竜門ダム  
 県北唯一の水がめで、貯水と洪水防止を目的に平成14年に完成。重力式ダムとロックフィルダムの複合形式の多目的ダム。堤高99.5m、堤頂長620m、総貯水量4,250万m<sup>3</sup>



11\_リサイクルネットを使ったハンモック。ゆらゆらと気持ちよさそう 12\_ヤマメのつかみ取りではぬるぬるすべるヤマメに悪戦苦闘 13\_炎天下で冷えたスイカもよく売れた 14\_特設ステージでは弾き語りや大道芸が披露された 15\_「ダムのおなか探検」へ出発。中は夏でもひんやり 16\_関係者で記念植樹

1\_竜門ダムと斑蛇口湖。ボート競技やイベント会場で活用されている 2\_水の大切さを伝える「あらぞうくん」 3\_自慢の郷土料理は住民の手作り 4,7\_丸太を切って作るペンダント 5\_意外に難しい火おこし体験 6,10\_特設プールには渓流の川の水も使用 8\_昔ながらの竹製水鉄砲が子どもに大人気 9\_バス釣り大会は外来魚駆除の目的もある



「竜門ダムフェスタ・感謝祭」が7月23日、竜門ダムで開催されました。周辺住民らでつくる斑蛇口湖活性化推進協議会が主催。特設プールやヤマメのつかみ取り、バス釣り大会、木工体験、ダムのおなか探検など催し物満載で、毎年多くの家族連れでにぎわいます。

今年がダムの運用開始から15年の節目を迎えたこともあり、移転住民へ感謝の思いをささげようと感謝祭も実施。菊池川流域の首長や受益者ら約100人が集まり、移転住民の苦勞をしのびました。受益農家を代表して森慎一郎さん（上住吉）が「私たちが恩恵を受けられるのは用地を提供してくださった皆さんのおかげ。深く感謝します」とあいさつ。参加者でエンジョを植樹し、感謝の思いを後世へ受け継いでいくことを誓いました。

移転住民へ感謝を込めて

15周年感謝祭  
 竜門ダムフェスタ  
 Ryumon Dam Festa 2017